



産総研
サイエンストーク

地層から 過去の巨大地震 を復元する

11月21日月
10:00~11:15

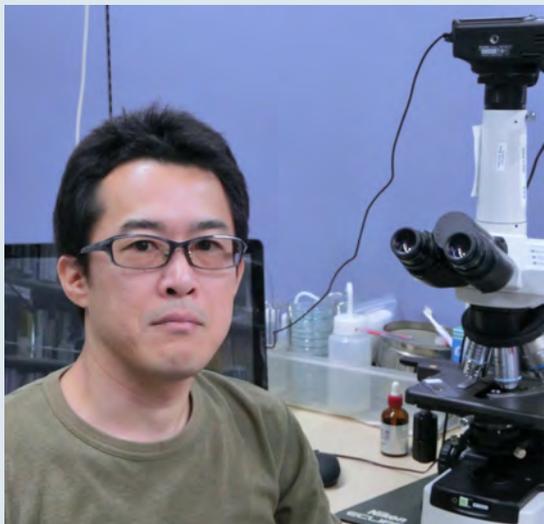
2011年に発生した東北の巨大地震は「想定外」だったのか？

震災以前から産総研が行ってきた東北地方の巨大津波に関する調査、そして、いまでも残されている課題についてお話しします。

現地で採取した地層の標本を実際に観察しながら、そこに刻まれた「過去の地震と津波の記憶」を読み取ります。

地震について、いっしょにもう一度考えてみませんか。

第一線で活躍する研究者と参加者で双方向のコミュニケーションを目指す産総研サイエンストーク。ご自身の専攻との関わりは気にせずお気軽にご参加ください！



さわい ゆうき
澤井 祐紀

活断層・火山研究部門

海溝型地震履歴研究グループ 上級主任研究員

愛知県出身。九州大学に進学。2001年に博士（理学）取得。産総研には、2003年からポスドクとして在籍。

2005年に任期付き研究員に採用され、2015年より現職。これまで、珪藻という微細藻類の化石を使って、過去の環境を復元する研究を行ってきた。

現在は、津波堆積物や、巨大地震に関係した地殻変動について調べている。主な調査地は、北海道・東北・カナダ・アメリカ・チリ。

【主な受賞歴】

2010年文部科学大臣表彰（若手科学者賞）、2011年つくば奨励賞（若手研究者部門）、2011年 The Sir Nicholas Shackleton Medal for outstanding young Quaternary scientists、2012年文部科学大臣表彰（科学技術賞）等